昭和60年11月11日第三種郵便物認可　毎月１回１日発行

HOLSTEIN
ホルスタイン通信

2014-6

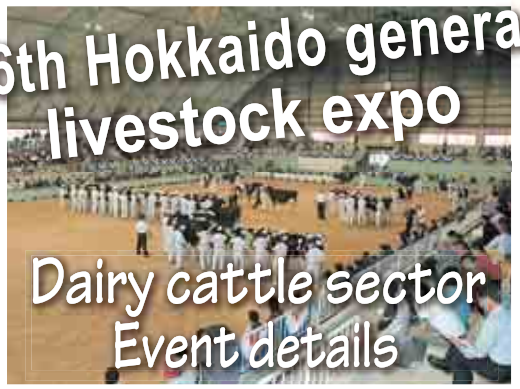
平成26年６月１日発行　通巻第７２２号
発行所　北海道ホルスタイン農業協同組合
〒001-8555 札幌市北区北15条西5丁目
電話 011-726-3111 FAX 011-726-3135
ホームページアドレス http://www.holstein.or.jp
発行人　専務理事　齋　藤　眞　澄
編集者　参　事　藤　澤　義　美

主な項目

◆ 第16回北海道総合畜産共進会（乳用牛部門）開催要領 …… １頁
◆ 2014北海道ホルスタインジュニアカップ開催要領 …… ５頁
◆ 寄稿『第14回全共北海道大会に想いを込めて…』 …… ６頁
《連載：浴石随筆その九》

第16回北海道総合畜産共進会（乳用牛部門）
開催要領

平成26年9月27日(土)～28日(日)
北海道ホルスタイン共進会場(勇払郡安平町早来)



オフィシャル・ジャッジ
千葉義博（当組合 審査部長）
アソシエート・ジャッジ ジャージー部門オフィシャル・ジャッジ
小泉俊裕（当組合 審査部企画担当次長）
ジュニアカップ・ジャッジ リードマンコンテスト・ジャッジ
福屋茂生氏（㈱家畜改良事業団十勝種雄牛センター課長代理）

１．目　的
　本道畜産の振興を図るため、道内で飼養されている優良家畜の展示を行い、飼養者に具体的な飼養管理並びに改良増殖の目標を与え、その生産意欲を高めることによって、畜産経営の安定的発展に資することを目的とする。

２．主　催
　第16回北海道総合畜産共進会実行委員会
　畜種別事務局：北海道ホルスタイン農業協同組合

３．後　援　農林水産省他

４．協　賛　畜産関係団体他

５．場　所　北海道ホルスタイン共進会場（勇払郡安平町早来）

６．会　期　平成26年９月27日(土)から９月28日(日)までの２日間

７．日　程
　９月27日(土)　８：00　比較審査（各部毎授賞、講評）
　　17：00　比較審査終了
　９月28日(日)　８：00　比較審査（各部毎授賞、講評）
　　13：00　比較審査終了

８．出品頭数　ホルスタイン種　416頭
　ジャージー種　40頭
　出品頭数の地区別割当（ジャージー種は除く）は主催者が決定する。なお、割当頭数の内６割以上を経産牛とする。

９．出品牛の資格
(1) ホルスタイン種登録牛及びジャージー種登録牛。
(2) 未経産牛については、母が登録協会の検定成績証明済、又は申込中のもの。経産牛に

ついては、本牛が登録協会の検定成績証明済、又は申込中のもの。

(3) 生年月日を第１日とし、平成26年９月30日をもって生後10カ月以上のもの。

(4) 本共進会に対する各地区窓口団体が行う予選会への重複出品による申込みは認めない。

(5) 国外牛については、前記(2)の資格に準ずるものとする。

(6) 輸入受精卵によって生産された出品牛の母牛の検定成績は、当該外国登録団体が発行する血統能力証明書により判定する。

10. 出品牛の衛生条件

出品牛は、ブルセラ病・結核病・ヨーネ病・アカバネ病・牛呼吸器病について、別表の衛生条件を満たし、所定の衛生検査・予防接種・健康検査を済ませ、獣医師が発行する「衛生検査・予防接種・健康証明書」（別紙）を提出しなければならない。

又、真菌症等の皮膚病に罹患していないこと及びイボ等体表（乳房も含む）に異常のないこと。

11. 出品者の資格

(1) ホルスタイン種牛又はジャージー種牛を所有する者。ただし、同一農家の親子関係にあっては、その限りでない。

(2) 農業高校出品牛も含む。ただし、農林水産祭には参加しない。

12. 出品申込

所定の出品申込書と登録証明書の写しを、９月１日㈪までに各地区窓口団体を通じて乳用牛部門事務局に提出すること。

13. 審 査 員　主催者が委嘱する。

14. 審査の区分 出品牛は次の区分により審査する。

部 別	区　　分	月・年 齢	生 年 月 日 の 範 囲
第１部	未経産カーフクラス	生後10カ月以上12カ月未満	平成25年10月１日～平成25年11月30日
第２部	後代検定娘牛ジュニアクラス	生後12　〃　14　〃	平成25年８月１日～平成25年９月30日
第３部	後代検定娘牛ジュニアミドルクラス	生後14　〃　16　〃	平成25年６月１日～平成25年７月31日
第４部	未経産ミドルクラス	生後16　〃　18　〃	平成25年４月１日～平成25年５月31日
第５部	未経産シニアミドルクラス	生後18　〃　20　〃	平成25年２月１日～平成25年３月31日
第６部	未経産シニアクラス	生後20　〃　22　〃	平成24年12月１日～平成25年１月31日
第７部	後代検定娘牛２歳クラス	生後36カ月未満　初産	平成23年10月１日以降
第８部	ジュニア２歳クラス	生後30カ月未満	平成24年４月１日以降
第９部	シニア２歳クラス	生後30カ月以上36カ月未満	平成23年10月１日～平成24年３月31日
第10部	後代検定娘牛３歳クラス	生後36　〃　48　〃	平成22年10月１日～平成23年９月30日
第11部	ジュニア３歳クラス	生後36　〃　42　〃	平成23年４月１日～平成23年９月30日
第12部	シニア３歳クラス	生後42　〃　48　〃	平成22年10月１日～平成23年３月31日
第13部	４歳クラス	４歳以上５歳未満	平成21年10月１日～平成22年９月30日
第14部	５歳クラス	５　〃　６　〃	平成20年10月１日～平成21年９月30日
第15部	成年クラス	６歳以上	平成20年９月30日以前
第16部	ジャージー種未経産ジュニアクラス	生後12カ月以上17カ月未満	平成25年５月１日～平成25年９月30日
第17部	ジャージー種未経産シニアクラス	生後17　〃　22　〃	平成24年12月１日～平成25年４月30日
第18部	ジャージー種３歳未満クラス	生後36カ月未満	平成23年10月１日以降
第19部	ジャージー種３歳以上クラス	生後36カ月以上	平成23年９月30日以前

＜注＞

（１）生後20カ月齢以上の未経産牛（ジャージー種を含む）は妊娠確実であるもの。

（２）第７部、第８部は２歳以下であっても出品できる。

15. 表　　彰

審査の結果により、次の区分によって表彰する。

ホルスタイン種の部

部別			出品頭数	1等賞	2等賞	3等賞	計	チャンピオン				特別賞	
ジュニア	第1部	未経産カーフクラス	30	80	145	191	416	グランドチャンピオン（1）	リザーブグランドチャンピオン（1）	ジュニアチャンピオン（1）	リザーブジュニアチャンピオン（1）		
	第2部	後代検定娘牛ジュニアクラス	30										
	第3部	後代検定ジュニアミドルクラス	30										
	第4部	未経産ミドルクラス	30										
	第5部	未経産シニアミドルクラス	25										
	第6部	未経産シニアクラス	25										
インターミディエイト	第7部	後代検定娘牛2歳クラス	25							インターミディエイトチャンピオン（1）	リザーブインターミディエイトチャンピオン（1）	ベストアダー賞（9）＆2ndベストアダー賞（9）	
	第8部	ジュニア2歳クラス	30										
	第9部	シニア2歳クラス	30										
	第10部	後代検定3歳クラス	25									ベストプロダクション賞（6）	
	第11部	ジュニア3歳クラス	30										
	第12部	シニア3歳クラス	30										
シニア	第13部	4歳クラス	26							シニアチャンピオン（1）	リザーブシニアチャンピオン（1）		
	第14部	5歳クラス	25										
	第15部	成年クラス	25										
計			416	80	145	191	416	1	1	3	3		

＜注＞　(1) 本共進会（道ホルスタインナショナルショウを含む）に5回以上出品した牛については、賞状と記念品を贈呈する。
(2) 第7部から第15部までの9部門については、乳器審査を同時に行い、ベストアダー及び、セカンドベストアダーを表彰する。
(3) 第10部から第15部までの6部門については、2等賞以上の中からＳＣＭ換算乳量でトップのものをベストプロダクションとして表彰する。
(4) チャンピオン、リザーブ・チャンピオンは、各部門の1等賞1席、2席を対象として選出し、選ばれた部門についての表彰の繰上げはしない。
(5) チャンピオン、リザーブ・チャンピオン6点の中から、グランド・チャンピオンとリザーブ・グランド・チャンピオン各1点を表彰する。

ジャージー種の部

部別			出品頭数	1等賞	2等賞	3等賞	計	チャンピオン		特別賞
ジュニア	第16部	未経産ジュニアクラス	10	8	12	20	40	ジュニアチャンピオン（1）	リザーブジュニアチャンピオン（1）	
	第17部	未経産シニアクラス	10							
シニア	第18部	3歳未満クラス	10					シニアチャンピオン（1）	リザーブシニアチャンピオン（1）	ベストアダー賞＆2ndベストアダー賞（各2）
	第19部	3歳以上クラス	10							
計			40	8	12	20	40	2	2	

＜注＞　(1) 第18部から第19部までの2部門については、乳器審査を同時に行い、ベストアダー及び、セカンドベストアダーを表彰する。
(2) チャンピオン、リザーブ・チャンピオンは、各部門の1位、2位を対象として選出し、選ばれた部門についての表彰の繰上げはしない。

16. そ の 他

(1) 出品牛の搬入は、9月25日㈭午前9時から午後5時、9月26日㈮午前9時から正午までの間とする。

(2) 特に守るべき作法については、別に定める「第16回北海道総合畜産共進会（乳用牛部門）「倫理規程」を遵守しなければならない。
(3) 出品牛は、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法（平成15年法律72号）第９条に規定する所定の耳標を装着しているものとする。
(4) 出品牛は、会期中会場から引き出すことができない。ただし主催者の許可を得たものはこの限りではない。
(5) 生後20カ月齢以上の未経産(ホルスタイン種の第６部、ジャージー種の17部)については妊娠鑑定書を持参する。
(6) 出品者は、審査又は表彰に対し、これを拒み、又は異議の申し立てをすることができない。不正行為等によって褒賞を受けたことを発見した場合には、その褒賞を取り消す。
(7) 出品に要する経費及び損害は、出品者の負担とする。
(8) その他、必要な事項は主催者が決める。

17. 付帯事項
(1) 酪農機械器具、資材展示会
(2) ゴールデン ナショナル セール
(3) ジュニア酪農教室及びリードマンコンテスト
(4) チャンピオン予想投票

2013
北海道 ホルスタイン ナショナル ショウ

ホルスタイン G・C （IM・C）
クリーン HL テンプター
（ハピイイースト アール エス テンプター ET）
出品：清水町 ㈲田中牧場さん

ホルスタイン RG・C （S・C）
エツセンス ダーハム レクサス アポロ ET
（レーガンクレスト エルトン ダーハム ET）
出品：豊富町 栗城一貴 さん

ホルスタイン J・C
KCF BB アツトウツド スリツク
（メープルダウンズアイ G W アツトウツド ET）
出品：広尾町 佐藤孝一 さん

別表　出品牛の衛生条件

検査・注射等の証明が必要な疾病等	衛生条件等	検査・注射等を行う期間
ブルセラ病	・搬入日前１年以内にスクリーニング法（急速凝集反応法）による血液検査又は確定検査（エライザ法及び補体結合反応法）を実施し陰性であること。 （生後90日未満のものにあっては獣医師の臨床検査による）	**平成25年９月26日** 以　降
結核病	・搬入日前１年以内にツベルクリン検査皮内注射法を実施し陰性であること。 （生後90日未満のものにあっては獣医師の臨床検査による）	**平成25年９月26日** 以　降
ヨーネ病	・搬入日前６ヵ月以内にスクリーニング法による検査（陽性の場合は家畜伝染病予防法施行規則別表第一による確定検査）を実施し陰性であること。 　なお、出品牛は、国が定めた「牛のヨーネ病防疫対策要領」に基づくカテゴリーⅠの農場で飼養されていることを原則とし、カテゴリーⅡの農場から出品する場合には、次の条件を満たしていること。 a 当該農場の患畜最終発生から６ヵ月が経過していること。 b 最低３ヵ月の間隔を空けた２回以上の抗原検査（リアルタイムPCR法又は培養検査法）を実施し陰性であること。 （２回目の検査は搬入日前６ヵ月以内に実施すること。）	**平成26年３月26日** 以　降
アカバネ病	・搬入日前３週間以上６ヵ月以内に獣医師による予防接種を受けていること。	**平成26年３月26日** から**平成26年９月４日**
牛呼吸器病	・搬入日前３週間以上６ヵ月以内に獣医師による予防接種（５種混合生ワクチン又は６種混合ワクチン）を受けていること。	**平成26年３月26日** から**平成26年９月４日**
健康である旨の証明	・搬入日前１週間以内に獣医師による臨床検査を受けていること。	**平成26年９月18日** 以　降

注１：監視伝染病等の発生農場からの出品については、他の出品家畜への感染の可能性も否定できないことから、原則として出品を認めない。但し、清浄化の判断ができる場合はこの限りではない。
注２：真菌症等の皮膚病及びイボ等体表（乳房も含む）に異常があるものは、他の牛への感染の恐れがあるため、罹患牛は出品を認めない。
注３：「カテゴリーⅠ」とは、清浄確認が行われており、牛のヨーネ病防疫対策要領第３「発生予防対策」の規定により予防対策を講じ、かつ、第６の１「サーベイランスの実施及び証明書の交付」に定めるサーベイランスで陰性が確認された状態をいう。「カテゴリーⅡ」とは、本病の発生があり、第４「発生確認時の防疫措置」に規定する措置又は第５「まん延防止対策」に規定する対策を講じている状態をいう。
注４：「５種混合生ワクチン」とは、牛伝染性鼻気管炎(IBR)、牛ウイルス性下痢粘膜病、牛パラインフルエンザ(PI)、牛RSウイルス病(RS)及び牛アデノウイルス病(AD)の混合ワクチンをいう。また、「６種混合ワクチン」とは、牛伝染性鼻気管炎(IBR)、牛ウイルス性下痢粘膜病１型・２型、牛パラインフルエンザ(PI)、牛RSウイルス病(RS)及び牛アデノウイルス病(AD)の混合ワクチンをいう。

2014北海道ホルスタインジュニアカップ開催要領

1．目　的

北海道ジュニアホルスタインクラブ会員もしくは改良に意欲のある20歳以下の若者を対象とし、乳牛改良の基礎知識習得と、出品者相互の親睦および出品技術・マナーの向上を期して酪農後継者の育成を目的とする。

2．会　名

2014北海道ホルスタインジュニアカップ

3．主　催

北海道ホルスタイン農業協同組合

4．協　賛

北海道ジュニアホルスタインクラブ運営委員会

5．場　所　　北海道ホルスタイン共進会場（勇払郡安平町早来）

6．会　期　　平成26年　9月27日(土)

7．出品区域　北海道一円(但し、道外からの出品も拒まない)

8．出品頭数　約50頭

9．審 査 員　主催者が委嘱する。

10．出品牛の資格

(1) ホルスタイン種登録牛

(2) 母が登録協会の検定成績証明済、又は申請中のもの。

(3) 国外牛については、前記(2)の資格に準ずるものとする。

(4) 輸入受精卵によって生産された出品牛の母牛の検定成績は、当該外国登録団体が発行する血統能力証明書により判定する。

11.　出品者の資格

北海道ジュニアホルスタインクラブ会員もしくは改良に意欲のある小学生高学年以上20歳以下の若者が誘導し、出品牛の管理と毛刈りは「本人が行う事とする」。所有者の制限はしないが、出品者名義以外の出品牛については畜主の了解を得ることとする。ただし、第16回北海道総合畜産共進会出品牛と重複しないこと。

12．出品申込

所定の出品申込書と登録証明書の写しを、9月1日(月)までに各地区窓口団体を通じて主催者に提出すること。

なお、申込期日後の牛の入れ替えは認めない。また、申込頭数が上限を超えた場合は調整することもある。

13．出品牛の衛生条件
14．出品牛の搬入　　第16回北海道総合畜産共進会開催要領に準じる。

15．表　彰

(1) 各部上位牛に対しリボンを贈呈する。

(2) 各部1位、2位を対象として、チャンピオンおよびリザーブ・チャンピオンを選出する。

ジュニアカップの部

	部　別	出品頭数	1等賞	2等賞	3等賞	計	チャンピオン	特別賞
ジュニアカップ	育成ジュニアクラス	25	10	16	24	50	ジュニアカップチャンピオン(1)　リザーブジュニアカップチャンピオン(1)	
	育成シニアクラス	25						

16．審査の区分

出品牛は次の区分により審査する。

基準日　平成26年9月30日

	部　別	月・年齢	生年月日の範囲
ジュニアカップ	育成ジュニアクラス	7カ月以上9カ月未満	平成26年1月1日～平成26年2月28日
	育成シニアクラス	9カ月以上12カ月未満	平成25年10月1日～平成25年12月31日
	チャンピオン決定		

(注)(1)出品頭数の少ない部は、他の部と合併して審査することがある。

17．付　則

(1) 出品牛は会期中会場から引き出すことが出来ない。ただし主催者の許可を得たものはこの限りではない。

(2) 出品に要する経費および事故による損害は出品者の負担とする。

(3) 審査時間までに審査場に入場しないものは欠場とみなす。

(4) 出品牛は、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法(平成15年法律72号)第9条に規定する所定の耳標を装着しているものとする。

(5) 審査、褒賞に対して異議の申し立てをすることは出来ない。

(6) 出品者は主催者が定めた『倫理規程』に従わなければならない。

(7) 出品者の年齢は4月1日を基準とする。

(8) その他、必要な事項は主催者が決める。

第14回全共北海道大会に想いを込めて…　vol.1：角倉牧場（1）

全共を来年に控え省みると、2010(平成22)年に予定した第13回大会が宮崎県で発生した口蹄疫により１年の延期となり、さらに2011(平成23)年３月11日に起きた東日本大震災と福島原発事故による多大な被害を鑑み、その開催が中止となりました。2005(平成17)年の第12回栃木県大会から10年の時を数え、満を持して開催される第14回全共北海道大会に日一日と心がはやる今日この頃です。

全共に向けた諸々の話題について、『第14回全共北海道大会に想いを込めて…』と題し今月号より寄稿させていただきます。連載初回となる想いを込めた話題は、長年に亘り全共への出品が続いている大樹町の角倉牧場です。

連続６回・計７回　全９頭出品

５年に１度開催される全共で、第12回栃木県大会において５回以上の出品を成し得た方々への表彰があり、北海道からは大樹町の角倉牧場と恵庭市の福屋牧場がその対象となりました。角倉牧場の全共への出品は、1970(昭和45)年の第５回愛知県大会から始まり、第11回を除く2005(平成17)年の第12回栃木大会までに計７回の出品があり、その頭数は９頭となっています。そして、幻となった第１回大会…この話の続きは後ほどにします。

【全共多回出品（５回以上）】全共に５回以上の出品を成し遂げるには最短で20年の期間が必要です。その間、全共に出品出来るレベルの牛が開催の年にのみ出現する事は有り得なく、少なくともその期間において、全道（都府県）のショウでトップに並ぶクラスの牛をコンスタントに作出し続けた結果と云えます。そのためには、牛群の体型・能力のレベルが高いことが前提となり、飼養者においては血統と改良の“妙”を的確に捉える知識・能力と感性が必要であり、加えて優れた飼養管理技術と良好な牧場環境があってこそのものであり、さらには長期に亘る安定した農場経営のバックボーンがあってこその賜物と察します。

誉れ高き宇都宮賞

今年の３月１日に執り行われた宇都宮賞表彰式において、全共への７回・９頭の出品を果たした功績と乳牛改良に対する功績を称え、乳牛改良の部で角倉了一さんが表彰されました。この宇都宮賞では、30年前に了一さんのお父様である角倉 博さんが同じく乳牛改良の部で受賞され、さらに了一さんの弟である広尾町の角倉光記さんが７年前に酪農経営の部で受賞されており、親子二代三名の宇都宮賞受賞は他に例が無く、北海道酪農に銘を刻む栄れとなりました。現在、了一さんと光記さんお二人がそれぞれ経営する牧場は順調な経営が続いており、次代に向けてさらなる発展の途上にあります。

すみのくらの史実　～序～

筆者は、以前このホル通信に全共の歴史を紹介する記事『温故知新』を連載させていただきました。全共の様々な出来事とホルスタイン改良の道程を調べる中で“すみのくら(角倉)”に係わる興味深い史実に辿りつき、その一端を『温故知新』の余談として紹介しました。ここで、その興味深い史実をもう少し掘り下げて紹介させていただきます。全共の話題からしばし離れます。

すみのくらの史実　～京都の角倉～

すみのくら(角倉)という姓のいわれを調べると、苦も無くそれは解りました。有名な姓である「角倉」が初めて使われた時代に遡ります。

角倉了以、日本史に記されている有名な人物であり彼の偉業が思い浮かぶ方もいるでしょう。了以は1554(天文23)年に生まれ、戦国期から徳川時代に活躍した京都３大豪商の１人であり、徳川幕府においては現在で云う需要諮問会議（シンクタンク）のメンバーとして迎えられています。祖先の吉田家は、室町幕府に仕えた医師の家系であり商人としても大成功した一族であり、了以は息子の素庵と朱印船を仕立てて安南(ベトナム・東南アジア）に幾度も渡航し莫大な財力を得ました。

嵐山を流れる大堰川沿い高台亀山公園に建つ角倉了以像

朱印船:時の支配者の朱印状（海外渡航許可証）を持って海外交易を行う

その後、豊富な財力を以て治水事業に乗り出し、京都嵐山を流れる大堰川を開削し、丹波(京都府の中・北部)から大量の米や農作物、木材や炭などを運ぶ水路を設け、京都の繁栄と寺社仏閣の建立

に多大な貢献をしました。

左上：滔々と流れる大堰川
上：京都の西のすみ(角)、大堰川沿い
角倉了以邸跡の保養所
左：保養所の裏手にある角倉稲荷

さらに、京都の中心部を流れる鴨川沿いに水路として高瀬川を開削して伏見と結び、大阪との間にあった陸送のみに頼った物流を改革し、海の無い京都に水運を起こして生活物資の大量輸送を実現させました。この高瀬川は、開削以来300年を経過する大正期まで利用されており、高瀬川と高瀬舟の名は幾度も小説や歌謡曲の題材として登場しています。

左：復元された高瀬川と高瀬舟
左下：鴨川・高瀬川近くの角倉町
〔新棋木通二条上ル〕
下：明治末高瀬川と曳船・高瀬舟

すみのくら(角倉)の姓の起源は了以で、本姓は吉田でしたが、祖先が土倉(金融業)を営んでいた事と京都のすみ(角)に住居があったことで、了以の代からすみのくら(角倉)を名のり、時代の流れとともに角倉一族の子孫が全国に広がって行きました。

すみのくらの史実 ～東京の角倉～

東京、時代は明治20年代の後半から30年代、日本乳用牛の改良の礎を築いた人物といえば宇都宮仙太郎翁が思い浮かびますが、アメリカから帰朝した仙太郎翁と合同で回陽社という牧場を経営した人物が角倉賀道(よしみち)でした。

『貴君ハ如何ナル種牛ヲ以テ改良セラルルヤ、當場ハ一日ニ斗五升一週間壹石六斗六升八合ノ乳ヲダセシ、アイドロツタ號ノ産兒アイダロツタポンチアツク號世界第一位ノ乳牛コランサ…等ニ依リ改良シツヽアリ今ヤ此等ノ血ハ當場ノ全群ニ普及セリ、諸君ハ此等の血族ヲ望ミ給ハサルヤ優等種牛ハ畜牛家の無盡藏ナリ』この口上は、賀道が後に経営する愛光舎の絵葉書に記されていた広告文の抜粋です。愛光舎は明治中期から昭和初期にかけて繁栄した牧場で、東京の巣鴨と埼玉県の大宮市に在りました。牧場の始まりは、医師であった賀道が天然痘のワクチンである牛痘を製造し、日本での販売はもとより世界各国に輸出するためでしたが、搾乳業の規模拡大を進め最盛期には40棟を超す牛舎施設と300頭余りの大牧場へと移り変わりました。その間、賀道は3回に亘り渡米し純血種牛を買い入れ、自らの牧場を始め日本各地に輸入牛を供給して乳牛の改良に大きな貢献を果たしました。渡米先のウイスコンシン大学においては畜産学を学び、さらには細菌学を学んで殺菌牛乳の製造・販売の先駆者ともなりました。賀道は牛痘の製造にあたり、その苗となる牛の預託事業を起こし、東京や関東地域の多数の農家に牛を飼育させ、乳牛の飼養や牧場経営に必要となる様々な技術や情報を得る機会を農家に与え、ホルスタイン種の飼養頭数拡大へと弾みをつけたのです。

巣鴨搾乳場之入口

巣鴨搾乳場第3牛舎ブラウンスイス雌牛群

大宮種牛牧場第4放牧場の一部

すみのくらの史実 ～北海道の角倉～

明治28年、愛光舎の賀道のもとに訪れたのが京都で生まれ北海道へと旅発つさなかの角倉三郎でした。この時、賀道は牧畜を勧め「宇都宮さん町村さんを頼りなさい。」と言い、一冊の本を贈りました。

－来月号につづく－

（JHBS管理部長 城丸）

写真：日本日本の乳牛ホルスタイン史、角倉同族会報誌、角倉牧場所有資料より一部抜粋

浴石随筆 その九

家具その他、一切合財を処分して「高齢者住宅」へ入居した。北海道へ帰って来て29年暮した豪邸？の不用品を処分する日、やって来たのは破砕機の付いた収集車。家具、什器は勿論のこと、なにもかも粉々に砕いたから、一切はアッという間に終った。

高齢者住宅は「食事付き」である。チョイト一杯を企てゝも、夕食を断わるには 2 日前迄に届けなければならない。平たく言えば年金枠の老人下宿である。赤字は許されないから、老後に備えて貯蓄も---と考えたりする。“老後”つて、と言って女性の事務職員が目に涙を溜めて笑っている。借越ながら筆者は、これまでの永い人生で女性を泣かせたという認識は無い。(尤もこの論題は、相手の女性の主観と認識の相違にもよるから、一様には語れないこともある)。

彼のキンさん、ギンさんも、ＮＨＫの出演料を「どうするんですか？」と聞かれて「老後のために貯金します」と言った。鹿児島県で百歳を超えた泉 重千代さんが、お祝いにやって来た偉い人に「お好きなタイプの女性は？」と聞かれて「年上のヒト」と答えた話も有名である。事程左様に、年を取ったらーーゆったり気分ーーが大切である。

建物のすぐ近くには北広島市が造った遊歩道があって、格好の散歩道になっている。この遊歩道に寄り添うように雑木林がある。或る日、遊歩道の中間にあるベンチに坐っていて、地元に昔から住んでおられるK氏とお話をする機会があった。

「この雑木林は、野幌原生林のちょうど端ッこになります」と聞いた。原生林と聞いて筆者は、北海道開拓時代のことゝして聞いた“ある事”を想起した。

昔、厳冬の北海道の原野で、あまりの寒さのために、樹のなかの樹液が凍って膨張し、樹種によっては樹皮を被ったまゝの立木が、猛烈な音を立てゝ裂けたという。

樹木の「凍裂」である。深夜の、または未明の原野で“パーーン”と凄い音だという。

当時、北海道大学の林学部におられた研究者の方が、凍裂を起こす樹種の樹液を採取して、その成分を詳しく調べた結果が「北海道大学紀要」という分厚い学術論文集に載っていた。詳しく読ませていただいた。次の大要が書かれてあった。

「樹種によっては、“凍裂”を起こす厳冬の時期に向かって、樹液のなかにグリセリンが極く微量だが増加する」とあった。

この研究大要はたしか、牛精液の凍結技術が世に出る少し前であったように記憶している。あるいは相前後していたか？。とくに関心が持たれたのは、細胞を凍結から守る所謂「凍害保護物質」としてのグリセリンが、北海道大学によって見出されていた事である。

現在、北海道で飼養されている乳牛の殆ど大部分は，優れた遺伝子を持つ精子を人工授精する凍結精液が繁殖の現場で広く使われている。凍結処理の過程でグリセリンの添加は必須の技術なのだが、精液とグリセリンとでは、両者の浸透圧が大きく異なるため、液体窒素の温度へ持ち込む迄に、その添加技術は大いに苦労することの一つである。

昔、釧路におられて、のちに札幌へ移られたＳ氏。空知におられて札幌へ移られたＯ氏のお二人の処理技術は刮目に値するほど優れていたのを記憶している。お名前は書かれていなくとも、動く精子を顕微鏡で見せていただくと、その人の秀れた技術は分かるのである。お二人は今は鬼籍にある。そのＳ氏が或る時、“月寒に、いゝのが居る”と呟いていたと、人づてに聞いたことがあった。嬉しかった。技術者は自己の技術が正しく評価されるのが何より有難い。纏めた業績が間違いなく引用されたときは本当に嬉しい。

遠い昔を思い出して、野幌原生林と「凍裂」に寄り添って拙稿を草した次第である。

お天気の良い日。原生林に添って散歩するのだが、この次、事務の女性達をどうやって笑わせようかと考え乍ら歩いている。腹を抱え、泣いて喜ぶ若い女性を見ると、脳梗塞を患った当方の血管を流れる血潮は、綺麗な赤いサラサラの血液になるような気がする。

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

（蛇足）「あなた、今、何を考えてんの？」「君とおんなじこと、考えてたヨ」---「イヤネエ--あんた。--エッチ」---「???--？」。

〇近頃、液体窒素の温度（－196℃）をフッと思い出せないことがある。

浴石

第6回理事会の概要

平成26年4月28日(月)午後1時15分
当　組　合　3　階　会　議　室

【報告事項】

1．前回理事会(3/25)後の主な処理事項について

3/27　北海道乳牛改良委員会（第6回）
　　北海道ホルスタイン改良協議会三役会
28　ジェネティクス北海道 理事会
4/3　石狩ホルスタイン協議会懇親会
9　日ホ北海道支局　本局監事監査
　　北海道ブラウンスイス協議会
　　平成26年度研修会
14　宇都宮顕彰会　決算監査会
17-18　決算監査
18　㈱JHBS決算監査
20　日ホ 第269回理事会
23　第14回全日本共進会北海道実行委員会
　　第3回幹事会
24　第16回北海道総合畜産共進会実行委員会
　　事務局会議
　　「牛づくりの会」研修会

2．第14回全共開催準備に係る進捗状況について

3．ＪＨＢＳの現況について

【協議事項】

1．組合員の加入について
　期首:985名 加入:7名 現在:992名

2．第68回通常総会提出議案について
(1) 平成25年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、附属明細書、剰余金処分案の承認について
・定期(決算)監査報告について
・監査報告に関する考え方について
(2) 平成26年度事業計画及び収支計画の設定について
(3) 平成26年度賦課金の賦課及び徴収方法について
(4) 理事及び監事の報酬について
※ 第68回通常総会 進行予定

3．一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会
　時期理事の推薦について

4．ラクレン農協連の任期満了による次期理事の推薦について

9．総会出席組合員酪農支援品について

体型審査予定

体型審査の予定は次のとおりです。も寄りの登録取扱団体にお申し込み下さい。

日程　6月17日～6月28日

□上川地区
　全管内
□後志・渡島・檜山地区
　全管内
□十勝地区
　新得・清水・芽室・鹿追・士幌・上士幌
□網走地区
　丸瀬布・遠軽・上湧別・湧別・芭露・生田原・白滝

日程　7月1日～7月12日

□石狩地区
　全管内
□空知地区
　全管内
□十勝地区
　豊頃・浦幌・本別・足寄・陸別
□釧路地区
　釧路・阿寒・鶴居・幌呂・白糠・音別・弟子屈
□根室地区
　中標津・計根別
□網走地区
　紋別・上渚滑・雄武・興部・滝上・西興部

日程　7月22日～8月2日

□胆振・日高地区
　全管内
□十勝地区
　帯広・川西・大正・音更・木野・高島・池田・幕別
　札内
□根室地区
　根室・別海・西春別
□網走地区
　網走・佐呂間・常呂・東藻琴・斜里・小清水・清里
　女満別・美幌
□宗谷地区
　全管内

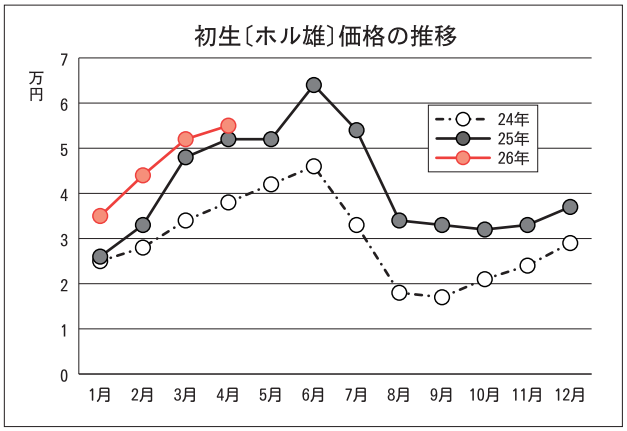
北海道ホルスタイン農協　家畜市場成績

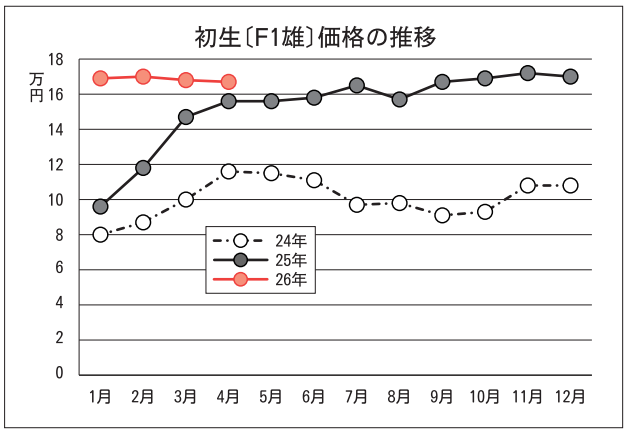
初生〔ホル雄・F1雄・F1雌〕価格の推移

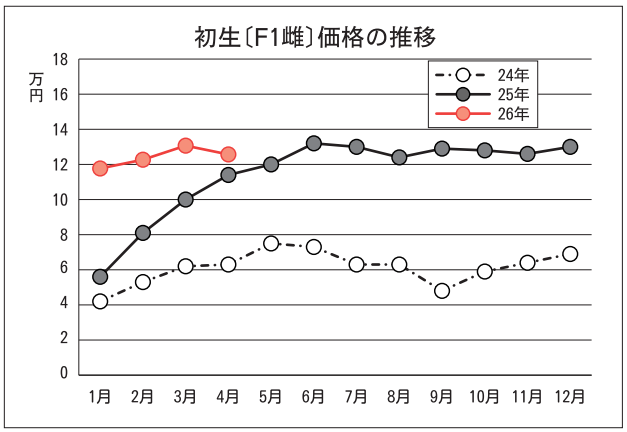
（単位：万円）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ホル雄	3.5	4.4	5.2	5.5								
F1雄	16.9	17.0	16.8	16.7								
F1雌	11.8	12.3	13.1	12.6								

（注）価格は各月でセリが成立したものの税抜き平均価格です







最近の家畜市場成績（5月20日開催）

種　類	内　訳	出場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格
乳用牛	育成牛	1頭	1頭	83,160円	83,160円	83,160円
	初妊牛(88%以上)	—	—	—	—	—
	初妊牛(88%未満)	—	—	—	—	—
	経産牛	—	—	—	—	—
初生犢	ホル雄	87	86	85,320	5,400	45,222
	ホル雌	—	—	—	—	—
	ホルフリー	1	1	2,160	2,160	2,160
	黒毛雄	2	2	356,400	192,240	274,320
	黒毛雌	—	—	—	—	—
	F1雄	40	39	244,080	32,400	179,003
	F1雌	30	29	170,640	65,880	143,863
	乳用種雄	—	—	—	—	—
	乳用種雌	—	—	—	—	—
	肉専用雄	—	—	—	—	—
	肉専用雌	—	—	—	—	—
肉用牛	1年以上ホル雌牛	49	49	268,920	102,600	172,205
	その他肉用牛	11	10	218,160	54,000	142,776
馬		8	8	270,000	86,400	205,200
緬羊・山羊		—	—	—	—	—
合　計		229	225	356,400	2,160	120,816

乳牛予想相場表

（平成26年6月予想）

規格	月　齢	中	上
血統濃度88%未満	6～8カ月	24～28万円	25～30万円
	9～11〃	25～30	26～32
	12～14〃	24～33	26～33
	初妊牛	45～50	47～52
同上概ね88%以上	6～8カ月	24～28	25～30
	9～11〃	25～30	26～32
	12～14〃	26～33	26～33
	初妊牛	45～50	47～52
成績証明娘牛	6～8カ月	25～30	26～32
	9～11〃	26～32	26～33
	12～14〃	28～33	28～35
	初妊牛	47～52	53～

（注）初妊牛は8～9月に分娩するもの。

ひとこと

レジェンド(伝説)、ソチ五輪大会でこの言葉を良く耳にした方が多かったと思います。

冬季五輪史上、日本人選手で最年長メダリスト(個人ラージヒル銀メダル、団体銅メダル)を獲得した、スキージャンプの葛西紀明選手・41歳のことで、世界のジャンプ界では常識を覆す選手寿命で、しかも海外のトップ選手と親子程の年齢差を全く感じさせず、常にメダル争いを演じ続ける葛西選手に、国内外•特に海外の選手•スポーツ記者から「レジェンド(伝説)」として称讃され、五輪で悲願のメダルを獲得したあの雄姿、私たちに感動と勇気を与えてくれた一人です。

人は何歳まで全盛期の体力を維持出来るのか興味があって調べてみると、一般的には筋力は20代前半をピークに加齢と共に下降線をたどるが、マラソンやトライアスロン等、持久力系の筋力を使うスポーツは男性40台後半まで、女性は50台前半まで自己ベストを更新する事が可能との事である。

そこで、葛西選手について調べてみると、海外デビューは弱冠19歳で世界のフライング大会で優勝し、史上最年少のW杯優勝で天才ジャンパーと称され、世界各国の大会で数々のメダルを獲得し、国内では孤高のジャンパーとも言われたが五輪でのメダルには縁がなく悲運の天才ジャンパーと言われ、その後二度に亘る所属企業の不遇に遇いながらも競技を続け36歳で監督を引き受け二刀流として飛び続け、ソチ五輪では膝の痛みと、日本国民のメダル獲得のプレッシャーを一身に背負いながらも、悲願のメダルを獲得した姿に拍手を贈り、スポーツの素晴らしさを改めて教えられました。

また、レジェンドはずば抜けた身体能力で「垂直跳び80㎝」、助走せずに跳躍する「立ち幅跳び287㎝」、立ち幅跳び3回連続の「3段ジャンプ907㎝」、「上体そらし72㎝」、「背筋力222kg」、「体脂肪5％」と、衰えを知らない身体能力で、この数値を維持している事にただただ驚き感嘆するだけである。そして、20数年間にわたり五輪でのメダル獲得にモチベーションを維持した精神力は想像し難いものがあるが、更に4年後の平昌五輪(韓国)でのゴールドメダルを目指し、日本ジャンプ界の屋台骨を支え、現役続行する不惑のジャンパーに更なる声援を送ります。

私も健康維持のため、50歳からランニングを始めて9年目になるが、葛西選手から感動と勇気をもらい、家族に迷惑を掛けず、病院の世話にならないよう、あと少しに迫る還暦を迎え適当なモチベーションを継続しながら地球半周を目指しています。

酪農界においても、それぞれの牛群内で「貢献牛•記録牛•愛牛」として活躍した牛、これから活躍される牛、「レジェンド」が輩出される事を期待します。

そして、2015全共北海道大会で、まさしく「レジェンド」が現れる事を今から楽しみにしています。

〈健康増進に励むオジサンG〉

頒価100円（組合員の購読料は賦課金に含まれています）